

WS②

未来を想像する

自分が大人となり社会を生きていく時、大切にしたい価値観やありたい暮らしのイメージ。その際にハードルだと感じることを考える

WS②未来を想像する 概要

8月29日 13:00～17:00 @愛知大学名古屋キャンパス

アジェンダ

- 13:00-13:10 はじめに_前回の振り返り
- 13:10-14:50 発表：各若者メンバーが全体に事前課題を発表
- 14:50-15:00 休憩
- 15:00-16:15 グループディスカッション 5名・4名にて
- 16:15-16:20 休憩
- 16:20-16:50 全体共有：各グループでの議論の要点を共有
- 16:50-17:00 次回に向けて



WS②の事前宿題：将来の自分（不安と希望）

約15年後の自分の将来に対して、あなた自身はどのように感じていますか？

不安に溢れている～希望に触れているの10段階スケールの中で、当てはまる数字に○をつけてみてください。変動がある場合は平均値に印をつけてください。

そして、自分がそのように感じる理由を書いてみてください。不安や希望の理由をなるべく具体的に考えてみて、率直に書いてみてください。

10段階スケール



理由・説明

WS②の事前宿題：将来の自分（価値観やライフスタイル）

15年後の将来の自分を想像した時の生活スタイルや価値観を、以下の3つの切り口から書いてみてください。

※全員が共感・同意できるようなことよりも、「今の時代を生きる自分だからこそ」感じることに着目してみてください！

①避けたいこと

他者なら良いかもしれないが、将来の自分は「これだけは嫌だ」「こうはなりたくはない」と感じることは何ですか？

②守りたいこと

将来の自分が「これだけは大事にしたい」「これは譲れない」と感じる暮らし方や価値観は何ですか？これまで大事にしてきたことでも構いません。

③得たいこと

将来の自分がもし理想的にできるのであれば、何を得たい/どうなりたいと考えますか？どんな将来だと希望を持てますか？

WS②の事前宿題：将来の自分（理想の実現に対する課題）

ここまで考えたような価値観を大事にし、生活スタイルを実現する上で、**課題になるもの**は何だと思いますか？

自分が描くライフスタイルを実現する上で難しいことは何ですか？自分がもっと将来に対して希望を持ち、不安感を少なくするためには、どういうことを取り除いたり、変えたりすれば良いと感じますか？自分自身の行動や周りの状況など、沢山あると思いますが、ぜひ具体的に書きだしてみてください。

ひとことで言うと

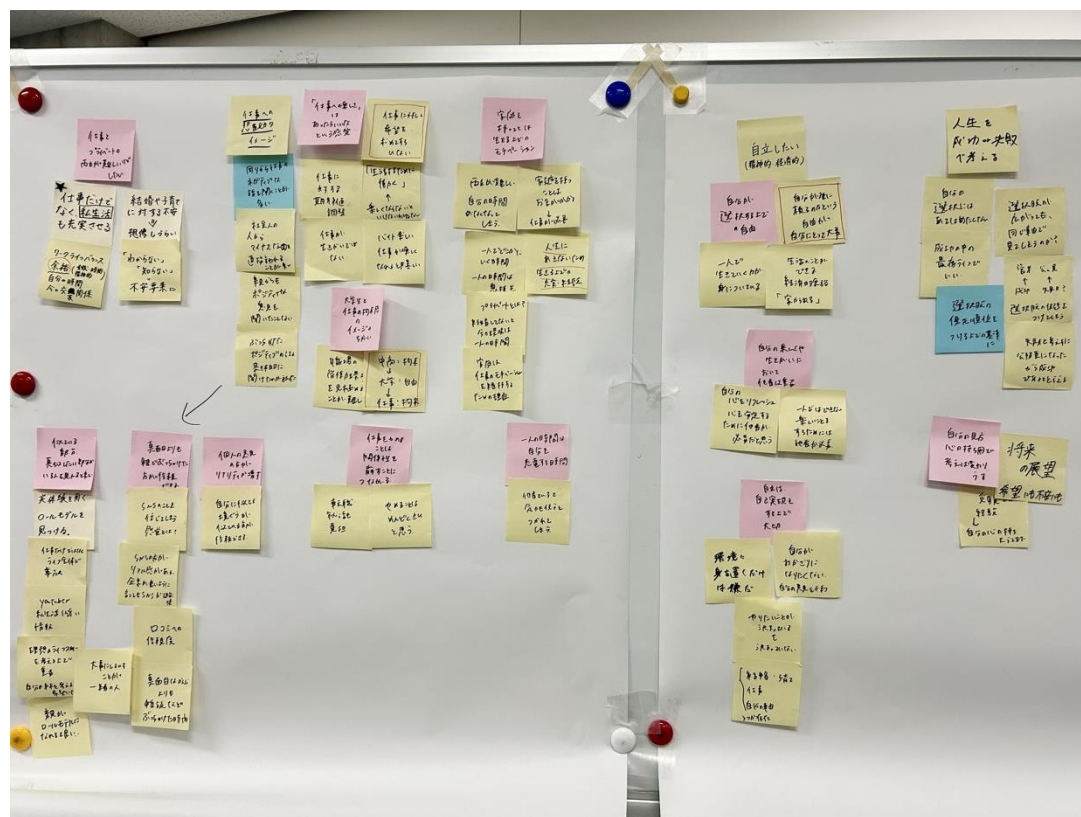
補足の説明

事前課題ワークシート

[illegible]

グループA

ファシリテーター：山崎



グループB

ファシリテーター：ボヴェ



学生たちが将来の自分を想像して感じた「こうなってほしい」理想とそれを実現する上での不安や課題



成功/失敗にとらわれない

多様な生き方や
選択肢を知りたい



精神的には周りに頼りながら、
自立したい



仕事と家庭以外の

自分のための時間も大切にしたい



「仕事は辛いもの」だからこそ、
過度に期待せず慎重に選びたい



家庭は持ちたいけど、
自分が“ちゃんと”できるか不安



仕事と家庭の両立が基本であり理想
だけどできるか不安

背景

SNSや大人からの
“ネガティブ”な情報



若者が得る情報の
二極化・分断



企業やYoutubeからの
“ポジティブ”な情報

「仕事は辛いもの」だからこそ、過度に期待せず慎重に選びたい



- **周囲の大人の様子やSNSなどの情報、実体験から「仕事は辛いもの」というネガティブイメージが強くある**
 - 仕事は「体力・精神・自分の価値観を削りとられるもの」というイメージ
 - 幼少期から親や兄弟が疲れ果てて帰ってくる様子を見てきたし、“辛くても生活のためには必要“という話ばかり聞く
 - SNS上でもブラック企業の話が後を絶たず、アルバイトなどを通じて、社員や店長が大変そうにしている様子も目にしてきた
 - 大学生活が自由な分、社会人生活は拘束や規律に縛られていた中学高校時代と重なって感じてしまう面もある
- **仕事に“楽しさ”など過度や希望や期待を抱いても余計に辛くなると思うから抱きたくない**
 - （上記のような体験から）企業が仕事のやりがいや醍醐味などを発信する情報は「ウソだ」「建前だ」と感じてしまう
 - 仕事は生きがいではなく、仕事の楽しさは“あればラッキー”という温度感。仕事に対する期待値を調整している感覚
 - 「仕事に多大なエネルギーを持っていきたい」「良い仕事はワークライフバランスの取れる仕事だと思う」
- **仕事に大きな期待をしないからこそ、仕事は慎重に選びたい**
 - 仕事に生きがいや楽しさを求めないから、とりあえず何でも良いとはならない
 - 余裕を持ち、強いストレスを感じずに、働き続けられる、自分に合っている仕事を慎重に選びたい
 - 仕事が合わなかったりブラックならば転職を考えるけど、転職を続けるのは仕事に慣れず、人間関係もくずれ、結果的に人生における仕事の比重があがることになるのでできれば避けたい

「仕事は辛いもの」だからこそ、過度に期待せず慎重に選びたい



WS②の事前宿題案：将来の自分（理想の実現に対する課題）

名前：こうき

ここまで考えたような価値観を大事にし、生活スタイルを実現する上で、課題になるものは何だと思いますか？
自分が描くライフスタイルを実現する上で難しいことは何ですか？自分がもっと将来に対して希望を持ち、不安感を少なくするためには、どういうことを取り除いたり、変えたりすれば良いと感じますか？自分自身の行動や周りの状況など、沢山あると思いますが、ぜひ具体的に書きだしてみてください。

ひとことで言うと

仕事＝忙しくて自分の時間もなく、大変であると悪いイメージがついてしまっていること。

補足の説明

子どものころから忙しそうに働いている両親を見て、大人は子どもの自分と比べて自由にできる時間が遠すぎるという印象が強かった。また、大人になるにつれ、朝早く起きて夜遅くまでたくさん働くのに給料も少ないというブラックな企業が存在すると知り、もし自分がそこに就職してしまったら生きていけないと思うが親には経済的には頼りたくないという実際に働いてもないのに不安に陥ってしまっている。

子供に比べて大人が自由の時間が少ないのは仕方のないことだし、ブラック企業に関しては就職しないようにすればいい。仕事とプライベートの時間を両立ができ、給料も充分にもらえるようなところに就職できるようにすればいいと悪い方考えるのではなくポジティブに考えるように心がけ、内定がもらえるまで約一年間頑張ればいい。

自分の理想としている姿のように生きている人をたくさん間近でみれば、不安も少なくなり希望に変わっていくと思う

WS②の事前宿題案：将来の自分（理想の実現に対する課題）

名前：タケル

ここまで考えたような価値観を大事にし、生活スタイルを実現する上で、課題になるものは何だと思いますか？
自分が描くライフスタイルを実現する上で難しいことは何ですか？自分がもっと将来に対して希望を持ち、不安感を少なくするためには、どういうことを取り除いたり、変えたりすれば良いと感じますか？自分自身の行動や周りの状況など、沢山あると思いますが、ぜひ具体的に書きだしてみてください。

ひとことで言うと

仕事に慣れること

補足の説明

- ・プライベートまで充実させることが理想なので、仕事のことで悩んだりひきづったりしたくない。そのために、仕事に早く慣れて余裕を持って仕事をこなしたい。
- ・→社会人の先輩方からいろんな体験談やどれくらいのペースで仕事ができるようになったか聞く機会が欲しい。入社後の新人へのサポート等の情報をもっと簡単に気軽に知ることができればうれしい。

大人視点の補足

大学生の語る将来への本音のなかで特に強い印象を残したのが、仕事に対するネガティブなイメージ。「できることなら働かずに暮らしたい」といった言葉も出たが、実際には真面目さがあり自立しなければ／したいという想いも強く（後述）、「辛いものであることを受け入れたうえで、いかに少しでも余裕を持って働ける場所を見つけるか」を慎重に考え就職活動をする若者像がみえた。大人視点からは現実以上に過度にネガティブに捉えられているとも感じられ、建前やウソではなく、仕事のなかにある小さな楽しさやポジティブな側面も伝えられないだろうか



精神的には周りに頼りながら、自立したい

• 仕事をして経済的に自立することは絶対に必要なこと

- 今後の人生で何より避けたいのは、今（学生時代）の状態のまま、経済的に自立できていないこと
- 社会的にも自身のプライドの面でも「働いていない」ことは許されないことだと感じる
- 自立した異性に出会うためにも自分が自立してちゃんと働く必要がある
- 自立をすることで、一人で生きていく力が身に付き、自分が誰に頼るかを決めることができる

• 自分の芯を持ち、それが尊重される環境に身を置き続けたい

- 自分の意見が言えないような環境にはなるべく身をおきたくない
- 人との交流がさらに増えても、他人の行動や選択に流されずに自分の考えを大事にしたい
- 自分の芯（価値観や考え方）があってこそ周りの人もいてくれると感じる
- 変わることは大事だが、根底は変わらずにいたい

• 身近の相談できる人や頼れる人は今後も大切にしていきたい

- （今後もいてくれると思える）頼れる友達や家族などが身近にいるため将来への希望が持てる
- 自分の心の安定や、生活の楽しさのためには、他者の存在は重要
- 金銭的には頼りたくないが、精神的には他者に頼りたい、支え合いたい

①避けたいこと

他者なら良いかもしれないが、将来の自分は「これだけは嫌だ」「こうはなりたくない」と感じることは何ですか？

今（学生）と全く変わっていないこと

自立せず、誰かの助けがないと生活ができない状況になることや、20年後以降のことをなにも考えずに過ごすことはしたくない。誰かに迷惑をかけることだけはしたくない。

希望に感じる理由

遠慮なく相談できる人に巡り会えたこと。

・中高生の頃は友人に自分が思い悩んでいる深い相談をすることは少しためらいがちだったが、大学生になり精神的にもお互い成長し、思い悩んだときは互いに頼れるようになり心の支えがあるという安心感がある。



精神的には周りに頼りながら、自立したい

①避けたいこと

他者なら良いかもしれないが、将来の自分は「これだけは嫌だ」「こうはなりたくない」と感じることは何ですか？

経済的には困りたくない。

いい歳しても親に頼ったままではない。
特に経済的なことはちゃんと全て自分でやりくりしていけていて欲しい。

②守りたいこと

将来の自分が「これだけは大事にしたい」「これは譲れない」と感じる暮らし方や価値観は何ですか？これまで大事にしてきたことでも構いません。

自分の芯をしっかり持って生きていきたい。
自分の芯(価値観や考え方)があやふやだと、人から頼られなくなったり、周りの人間が離れていってしまうのではないかと考えられるから。

②守りたいこと

将来の自分が「これだけは大事にしたい」「これは譲れない」と感じる暮らし方や価値観は何ですか？これまで大事にしてきたことでも構いません。

自分の考えをしっかり持つこと

社会に出れば今以上に他者との交流が増え、重要な選択を迫られることも多くなる。そんな時、他人の選択、行動に流されず、自分で考えて正しいと思ったことを大切にしていきたい。

③得たいこと

将来の自分がもし理想的にできるのであれば、何をしたい/どうなりたいと考えますか？どんな将来だと希望を持てますか？

精神的、経済的に自立したい。

- ・自分自身で考えて行動し、責任感を身に着けたい。
- ・親に助けられるばかりではなく、自分の力で生活できるようにしたい。

希望

- ・これまで出会った友人に恵まれている。

希望を感じる理由

- ・周りの人や環境に恵まれているため
→優しく温かく受け入れてくれ、信頼できる・してくれる友達や彼氏、家族が自分の周りにいる安心感。

希望に感じる理由

- 遠慮なく相談できる人に巡り合えたこと。
- ・中高生の頃は友人に自分が思い悩んでいる深い相談をすることは少しためらいがちだったが、大学生になり精神的にもお互い成長し、思い悩んだときは互いに頼れるようになり心の支えがあるという安心感がある。

大人視点の補足

議論や発表の全体を通じて「自立しなければいけない／自立したい」という想いも若者たちから強く感じられた。
(辛くても) 仕事をして生活や経済を自立することが社会人のステージに立つことであり、家庭を持つ(異性から認められる／良い異性に出会う)ためにも必要なことと考えられている。「自立」には自分自身の価値観や軸を持っていたいという意味も含まれるが、それは友人や家族などに頼らないということは意味せず、さまざまな不安や辛さを前提にしているからこそ、頼り、支え合うことも大事だという感覚が共有されている。

家庭は持ちたいけど、自分が“ちゃんと”できるか不安



- (家族仲が良い若者が増えたことも背景に) 家庭や子育てに対しては総じてポジティブな気持ちがある
 - 「自分の両親が幸せそうなので、自分も子供が欲しいと感じる」
 - 「自分が今の家族という時と同じような感覚でいられる相手（空気感や考え方が同じ）と結婚したい」
 - 「自分が母親を尊敬するように、自分の子どもにも自分のことを誇りに思ってもらえるような母親になりたい。」
 - 家庭を持ち子どもを産み育てることは、新たな出会いや気づきが親としてもあると思うので、人生に飽きず充実感を得るためにも仕事を頑張るというモチベーションにも繋がりそう
- (SNSなどで見聞きする情報を背景に) 子育てを自分が“ちゃんと”できるのか、“自分のままでいられるか”の不安を感じる
 - 出産・子育てについてよくわからず、情報も錯綜しているので不安を感じる
 - テレビやSNSを見て、育児のストレスで心が病んでしまう人や、生活するお金が足りなくて悩んでいる人がいるという現実を知る
 - 子育てを優先することで、精神的に疲れて自分が自分ではなくなってしまうたり、経済的に余裕がなくなってしまうたりするのではないかという不安がある
 - 出産・育児は自分の選択ではあるが、それをしている間は、義務感を感じ“本来の自分”ではいられないと思う
 - 子育てに対し、かける時間や熱量に対して一定の「基準」があるように感じ、自分がそこまで“ちゃんと”できるのかがわからない

家庭は持ちたいけど、自分が“ちゃんと”できるか不安



③得たいこと

将来の自分がもし理想的にできるのであれば、何を
得たい/どうなりたいと考えますか？どんな将来だと希
望を持てますか？

運命の人に出会って、
家庭を築きたい。

もし、結婚したいと思える人が現れ
て、子どもを授かったという状況にな
ったら、仕事よりも子育てを生活の中
心にしたい。
自分が母親を尊敬するように、自分の
子どもにも自分のことを誇りに思っ
てもらえるような母親になりたい。

WS②の事前宿題案：将来の自分（理想の実現に対する課題）

名前：みさ

ここまで考えたような価値観を大事にし、生活スタイルを実現する上で、**課題になるものは何だ**と思いますか？
自分が描くライフスタイルを実現する上で難しいことは何ですか？自分がもっと将来に対して希望を持ち、不安感を少なくするためには、どうい
うことを取り除いたり、変えたりすれば良いと感じますか？自分自身の行動や周りの状況など、沢山あると思いますが、ぜひ具体的に書きだして
みてください。

ひとことで言うと

世間の子育てに対するネガティブイメージで不安感が増すこと

補足の説明

テレビやSNSを見ていて、育児のストレスで心が病んでしまう人や、生活するお金が足りなくて悩んでいる人がいるという現実を知る。その中で、電話や
LINEで相談できるサービスがあることや、子育て支援金などの制度が充実してきているということを知った。
私自身、子育てに重きを置いて生活したいという理想はあるが、現実的に考えた時に**仕事よりも子育てを優先**してしまったら、精神的に疲れて**自分が自分で
なくなって**しまったり、**経済的に余裕がなくな**ってしまったりするのではないかと不安がある。

自分は実際に子育てをしているわけではないので**たまたま目にしたという状況**で子育て支援について知ったが、詳しい仕組みや手続きなどについて自分も含
めみんなが理解しているかどうかは怪しいと思う。

→情報を求めている人が調べた時に分かりやすい・利用しやすいということも必要だが、その情報をまだ必要だと思っていない人（若い世代やまだ子育てをしていない人たち）にも**調べずとも知ってもらえる環境**（授業内や電車の張り紙など）があればもう少し希望を持てたり、ポジティブに考えたりする人が増えると思う。

大人視点の補足

親子仲が良い若者が増えていることもあり、家庭や子育てに対しては、（仕事とは異なり）総じてポジティブなイメージを持つ若者が多いが、多様な情報によって不安も大きくなっている。「毒親」「親ガチャ」などの言葉が敷衍したこともあり、“ちゃんと”できなければ、家庭をもち子育てをする権利がないような感覚も生まれているために、自分らしくあることや**自分自身を大切に**する気持ちとの両立の困難さを予感したり、経済的な不安（沢山のお金を子どもにかけられないならば、可哀想だから産まない方がよい）にも繋がっていることが伺える。

仕事と家庭の両立が基本であり理想。だけどできるか不安



- **仕事だけでなく私生活を充実させたいし、両立することが“正解”とされている**
 - 仕事は辛いものというイメージもあり、幸せに生活を送るためには、ワークライフバランスが大切だと感じる
 - 社会的にも、仕事だけに時間を割くのではなく、プライベートも大事にする流れがある
 - どちらかだけでなく、仕事も家庭も両立できていることが、社会の”正解”“理想の姿”になっている感覚がある
- **異なるモードや「分人」を持って生きることが若者にとっては当たり前で、仕事と家庭といった複数の居場所が安定につながる**
 - 複数の居場所やコミュニティを持ち、それぞれのなかで異なる自分のモードを持つ若者の「分人主義」的な若者の自己像がある
 - 「部活をしている時の自分と、友達という時、彼女という時は全然違う自分になっていてその方が良い」
 - 例) 部活やバイトの時は自他に厳しくて計画性のある自分だけど、友人や彼女の前ではずっと適当で柔らかい自分 など
- **仕事と家庭の両立は実際にできるかはわからず、支援制度だけが存在しても不安はなくなる**
 - 「通勤して仕事をこなすだけでもつらいのに、家事や育児までできるのか不安」
 - 男性でも家庭や育児に時間や心を割くことが当たり前、だからこそ仕事との両立が可能なのかを不安に思う 気持ちが多い
 - 育休制度があると書かれていても、実際どれくらい取れるのか、産後復帰しやすいのか、同僚に対してかかる負担がどうなのか などその立場になるまで分からないことが多い

「分人」という考え方に共感する若者が増えている

個人主義 Individual



本当の自分が中心にいるが、
場面ごとに仮面を使い分けるという考え
・終わらない自分探し・一貫性に縛られる

分人主義 Dividual



本当の自分などなく、他者と共に作りだす、
複数人格のポートフォリオが自分という考え
・生きやすい・変化が容易

仕事と家庭の両立が基本であり理想。だけどできるか不安



WS②の事前宿題案：将来の自分（理想の実現に対する課題）

名前：よしかず

ここまで考えたような想像画を大事にし、生活スタイルを実現する上で、**課題になるものは何だ**と思いますか？

自分が働くライフスタイルを実現する上で難しいことは何ですか？自分がもっと将来に対して希望を持ち、不安感を少なくするためには、どういうことを取り除いたり、減えたりすれば良いと感じますか？自分自身の行動や周りの状況など、沢山あると思いますが、ぜひ具体的に書きだしてみてください。

ひとこと言おうと

仕事とプライベートの両立

補足の説明

友達などと話していると、結婚や出産が仕事の邪魔になるのではないかという意見をもつ人が多い。男女どちらも仕事やキャリアを優先して出産や結婚を見送る選択をする社会になりがちであると思う。育児やプライベートを優先したいという意思をしっかりと主張し、尊重できる会社が多くあるべきである。自分の意見を尊重してくれて、仕事＝人生にならない社会性を選んだり、ワークライフバランスに寛容な社会であつたらいいと思う。

WS②の事前宿題案：将来の自分（理想の実現に対する課題）

名前：ゆいな

ここまで考えたような想像画を大事にし、生活スタイルを実現する上で、**課題になるものは何だ**と思いますか？

自分が働くライフスタイルを実現する上で難しいことは何ですか？自分がもっと将来に対して希望を持ち、不安感を少なくするためには、どういうことを取り除いたり、減えたりすれば良いと感じますか？自分自身の行動や周りの状況など、沢山あると思いますが、ぜひ具体的に書きだしてみてください。

ひとこと言おうと

仕事と育児・家事が両立できるのか

補足の説明

〇通勤して、仕事をこなすだけでもかなりの体力を消耗するのに、帰宅後に家事も育児もできるのか。また、育児・産休が取りやすいのか、産後復帰がしやすいのかわからないので、漠然とした不安がある。

〇急な子どもの体調不良により休んだり、早退したりすることで同僚に負担がかかる

→・社会が子育て世帯に対してもっと寛容になる

・配偶者や家族の協力がいる

・地域コミュニティ

WS②の事前宿題案：将来の自分（理想の実現に対する課題）

名前：アサト

ここまで考えたような想像画を大事にし、生活スタイルを実現する上で、**課題になるものは何だ**と思いますか？

自分が働くライフスタイルを実現する上で難しいことは何ですか？自分がもっと将来に対して希望を持ち、不安感を少なくするためには、どういうことを取り除いたり、減えたりすれば良いと感じますか？自分自身の行動や周りの状況など、沢山あると思いますが、ぜひ具体的に書きだしてみてください。

ひとこと言おうと

理想を実現できるか、その立場になるまでわからないこと

補足の説明

・育児制度→会社は制度が充実しているとしかHPに載せないが、実際のどのくらいの期間が貰えるか

・取得率はどのくらいか、など詳しい情報を得にくい。いい情報しか載せないため

・理想のライフスタイル→今、理想のライフスタイルを持っているが、本当にそれが実現するのが未知数

同じ境遇（年収や職業）の人の実際のライフスタイルを簡単に聞けるようなサイトや相談室のような場所が欲しい

大人視点の補足

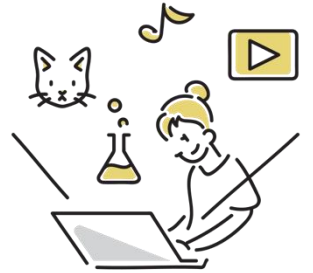
男子学生が「友達などと話していると、結婚や出産が仕事の邪魔になるのではないかという意見をもつ人が多い」とコメントをしていることに時代変化が象徴的に現れていた。若者にとって男女関係なく、仕事だけ、家庭だけではなく、その両方をしっかりと大事にすることが理想であり正解になっていて、しかし、ひとつひとつも大変なものだと認識する二つを両立することが本当に可能なのか不安も大きいことが感じられた。

仕事と家庭以外の自分の時間も大切にしたい



- 将来設計の中で、「家庭と仕事のみ」に焦点が当てられていると感じる
 - 将来設計として家庭と仕事に注目が集まるのは当然かもしれないけど、それ以外の生活が見えず将来に楽しさが見いだせない。
 - 「ドラマなどでも結局バリバリ働きながら結婚生活も充実させるという物語が多く、それが当たり前だと認識してしまうけど、仕事と家庭以外には何もないの？と思ってしまう」
 - 仕事は子育てに全てを注ぐ生活をしていると、「自分の時間が削られてしまう」「自分では無くなってしまう」と感じる
 - 現時点では、仕事も家庭も楽しいものと思えず「やらなければいけないこと」だと思ってしまう
- 仕事と家庭以外の「自分のための時間」「（友人などとの）自分たちの時間」を大切にできる余裕が欲しい
 - 一人の時間は、息抜きであり、自分が生きるためのエネルギーを充電するための時間なので、今後も確保し続けたい
 - 趣味や友人との交友関係などの「自分が自由に選べる・遊べる時間」は自分の幸せにとって大切
 - もう少し将来に選択肢が多々あり、楽しいという希望を持ちたい
- これからも「自分」を大事にしたい
 - 自分の身を削って生きることは避けたい。自分の気持ちを優先できる時間を大事にしたい
 - 他者に対して、素直ではいたいが、受け身ではいたくない

仕事と家庭以外の自分のための時間も大切にしたい



WS②の事前宿題案：将来の自分（理想の実現に対する課題）

名前： ミク

ここまで考えたような価値観を大事にし、生活スタイルを実現する上で、課題になるものは何だと思いますか？

自分が描くライフスタイルを実現する上で難しいことは何ですか？自分がもっと将来に対して希望を持ち、不安感を少なくするためには、どういうことを取り除いたり、変えたりすれば良いと感じますか？自分自身の行動や周りの状況など、沢山あると思いますが、ぜひ具体的に書きだしてみてください。

ひとことで言うと

働くことや家庭を作ることだけに焦点が合わせられがちなこと

補足の説明

主なライフイベントや将来設計として家庭と仕事に注目が集まるのはある意味当然ではあるが、それ以外の生活が見えず将来に楽しさが見いだせない。仕事を極めるか、家庭に身を捧ぐか、はたまた両者を両立させるためにものすごく努力するか、どこかになっている気がする。

もう少し将来に選択肢が多々あり、楽しいという希望を持ちたい。

⇒ 会社や自治体、社会からのフォローがあること、主に家庭に関して肩ひじ張らなくても生活ができるとしたい。

具体的にどんな生活をしているのか様々な人の話が聞きたい。その選択をして大変だったこと楽しかったことなど。

会社や家庭以外での交友や趣味、楽しみなどがあるのか、どれだけ自分の時間が持てるのか、ただただ忙しいだけの生活にならないが等々
(ex. 子供を持つことに躊躇している若者には子育て世代のリアルな話が必要かもしれない)



大人視点の補足

大人が「ワークライフバランス」を語る時、その「ライフ」が子育てや家庭のことばかりに見えるというのは重要な指摘と感じられた。仕事とも家庭とも別に、自分自身にとって大切な時間や体験、友人とのつながりなどを大事にできるイメージが湧きにくいことは、将来への前向きな気持ちを削ぎ、仕事や家庭に対しての不安にもつながっている。仕事と家庭の天秤にもう一つの要素が乗ることで、全体の安定が得やすくなるということではないか？そのような気づきとも言える。



成功/失敗にとらわれない多様な生き方や選択肢を知りたい

- **人生を成功・失敗の二軸で捉えがちなところがある**
 - 選択をする時の基準として「成功か失敗か」で見てしまうことがあり、失敗を恐れてしまう部分がある
 - “失敗した”と感じても何とかなる経験や知識があると、自信や希望が持ちやすい
- **そもそも自分の理想の暮らしや、やりたいことの見つけ方がわからない**
 - 自分が見てきている情報の中で、自分が「やりたい」ということをみつけなければならないというプレッシャーを感じる
 - 理想の暮らしはその立場に実際ならないと本当に自分の理想なのかはわからないと感じる
- **多様なロールモデルを知りたい**
 - そんな生き方もあるのか！という選択肢を知りたい
 - 家を持たずに車で暮らしている人とか、海外で働いている人 など
 - 普通に働きながら幸せに／魅力的に生きている人のリアルな暮らしこそ知りたい
 - 同じくらいの年収や職業の社会人のリアルなライフスタイル。仕事の中身や1日のスケジュール
 - YouTuberとかでなく普通に会社員をしているけれど趣味や推し活などを猛烈に楽しんでいる人の暮らし など
 - 仕事だけでなく、生き方全体や価値観に関して、自分が真似したいと思える大人のロールモデルがいると嬉しい
 - 大事にしていることが一緒の人が幸せに生きていることが、自分の生きる上での希望となる

成功/失敗にとらわれない多様な生き方や選択肢を知りたい



WS②の事前宿題案：将来の自分（理想の実現に対する課題）	名前：カノン
ここまで考えたような価値観を大事にし、生活スタイルを実現する上で、課題になるものは何だと思いますか？ 自分が置くライフスタイルを実現する上で難しいことは何ですか？自分がもっと将来に対して希望を持ち、不安感を少なくするためには、どういうことを取り除いたり、変えたりすれば良いと感じますか？自分自身の行動や周りの状況など、沢山あると思いますが、ぜひ具体的に書きだしてみてください。	
ひとことで言うと	人生を成功や失敗と評価する若者が多いこと
補足の説明	
前回のグループワークで私たちが受験や就活を成功や失敗と評価していたことに気づかされた。 (EX.受験に失敗。就活に失敗したくない) 失敗ではなく、違う道に進んだだけであることにすぐに気づくことができていないと言われてはじめて気づいた。 自分を評価されるタイミング（合否など）にイレギュラーな存在になることを恐れたり不安になったりする。 周囲によりも劣っている、思うようにいかなかった＝プレッシャーを感じたりネガティブになってしまう 理想は不安なく充実した生活を送ること マジョリティからずれてしまっただけで失敗したと思ってしまう現状を変えることができれば不安を取り除けるのではないかと ・さまざまなライフスタイルがあることや同じ悩みを抱える人が他にもいること、失敗が失敗でないと知る機会が必要 ・思うようにいかなかったときにフォローしてくれる仕組み（前向きになれるきっかけがあるといいな）	

WS②の事前宿題案：将来の自分（理想の実現に対する課題）	名前：サツキ
ここまで考えたような価値観を大事にし、生活スタイルを実現する上で、課題になるものは何だと思いますか？ 自分が置くライフスタイルを実現する上で難しいことは何ですか？自分がもっと将来に対して希望を持ち、不安感を少なくするためには、どういうことを取り除いたり、変えたりすれば良いと感じますか？自分自身の行動や周りの状況など、沢山あると思いますが、ぜひ具体的に書きだしてみてください。	
ひとことで言うと	目的・目標の設定 + 「大変そう・難しそう・分らない」の払拭
補足の説明	
・ただひたすらに働くだけではいつまでたってもお先真っ暗だと思う。 働く理由 をなんでもいので見つける 例) 社会に貢献したい、仕事を通して達成感を得たい、お金持ちになりたい、お金を稼いで趣味に使いたい など ⇒そうすることによって将来の自分に希望を見出すことができる。 ・不安に陥る大きな原因の一つは「知らない」ということだと思う。 未知のものに対する恐れは本能的なものであり、何が起こるかわからないという不確実性が不安を引き起こす。 そのため、身近な人、自分と性格が似ている人、境遇が似ている人の体験談を聞いたり、ロールモデルを見つけるだけでも不安を軽減することができるのではないかと。	

WS②の事前宿題案：将来の自分（理想の実現に対する課題）	名前：りな
ここまで考えたような価値観を大事にし、生活スタイルを実現する上で、課題になるものは何だと思いますか？ 自分が置くライフスタイルを実現する上で難しいことは何ですか？自分がもっと将来に対して希望を持ち、不安感を少なくするためには、どういうことを取り除いたり、変えたりすれば良いと感じますか？自分自身の行動や周りの状況など、沢山あると思いますが、ぜひ具体的に書きだしてみてください。	
ひとことで言うと	人それぞれ理想とするライフスタイルは違うということを社会が認識すること
補足の説明	
「大学を出たんだからこのくらいの企業に就職しなきゃだめ」、「結婚して家庭を持つことが当たり前」という認識が強い。 背景として ・SNSの発達により、表向きのキラキラした部分により見えやすくなった（実際は生活のほんの一部） ・ドラマなどでも結局バリバリ働ながら結婚生活も充実させるという物語が多く、それが当たり前だと認識してしまう →人々の理想の生活に固定観念のようなものが存在するように 実際は… ・趣味に没頭したい人や、そのためにワークライフバランスを重視したい人もいる ・結婚、出産願望は人それぞれ →社会が考える"理想"とズレていると感じてしまう、社会での肩身が狭く感じる →様々な生活スタイルをもつ人々にスポットライトを当てるべき	

大人視点の補足

情報に溢れているように感じられる現代・若者の暮らしだが、将来を考え希望をもつための、本当に知りたい情報は得られていないのかもしれない。エコーチェンバーの外側にある、「そんな生き方もあるのか」といった情報はもちろん、自分自身のリアルなロールモデルになるような、「ある意味では普通の、しかし実は多様で幸せな大人の暮らし」というものが可視化されたり支援されたりすることが、広がりのある効果を生むのかもしれない。

若者が得る情報の二極化・分断が起こっている



SNSや大人からの
“ネガティブ”な情報



企業やSNS/Youtubeからの
“ポジティブ”な情報



- TikTokやXを通じて苦しい生活や、（配偶者や社会に対する）不満を見聞きすることで生まれる「**自分もそうなる**」不安
- 親や身近な大人から「仕事は辛いもの」だと各所で言われる。親も子に対して“仕事のポジティブ面”について語らない傾向

- InstagramやYouTubeなどにあがる、素敵でキラキラとした瞬間や特別な成功を納めた人の生活を見ることで、「**自分にはない**」という不安
- 就活の際などに、企業が発信する仕事に対するポジティブな情報に触れても、“作られている”と感じてしまい信用することができない

⇒リアルな“大人”の実態が知れることが重要

一個人の中で、ポジティブ・ネガティブの両面があり、失敗もしながらも幸せに生きれている実態を知ることが、“今後もやっていける”という**等身大の希望**につながる。

学生たちが将来の自分を想像して感じた「こうなってほしい」理想とそれを実現する上での不安や課題



成功/失敗にとらわれない

多様な生き方や
選択肢を知りたい



精神的には周りに頼りながら、
自立したい



仕事と家庭以外の

自分のための時間も大切にしたい



「仕事は辛いもの」だからこそ、
過度に期待せず慎重に選びたい



家庭は持ちたいけど、
自分が“ちゃんと”できるか不安



仕事と家庭の両立が基本であり理想
だけどできるか不安

背景

SNSや大人からの
“ネガティブ”な情報



若者が得る情報の
二極化・分断



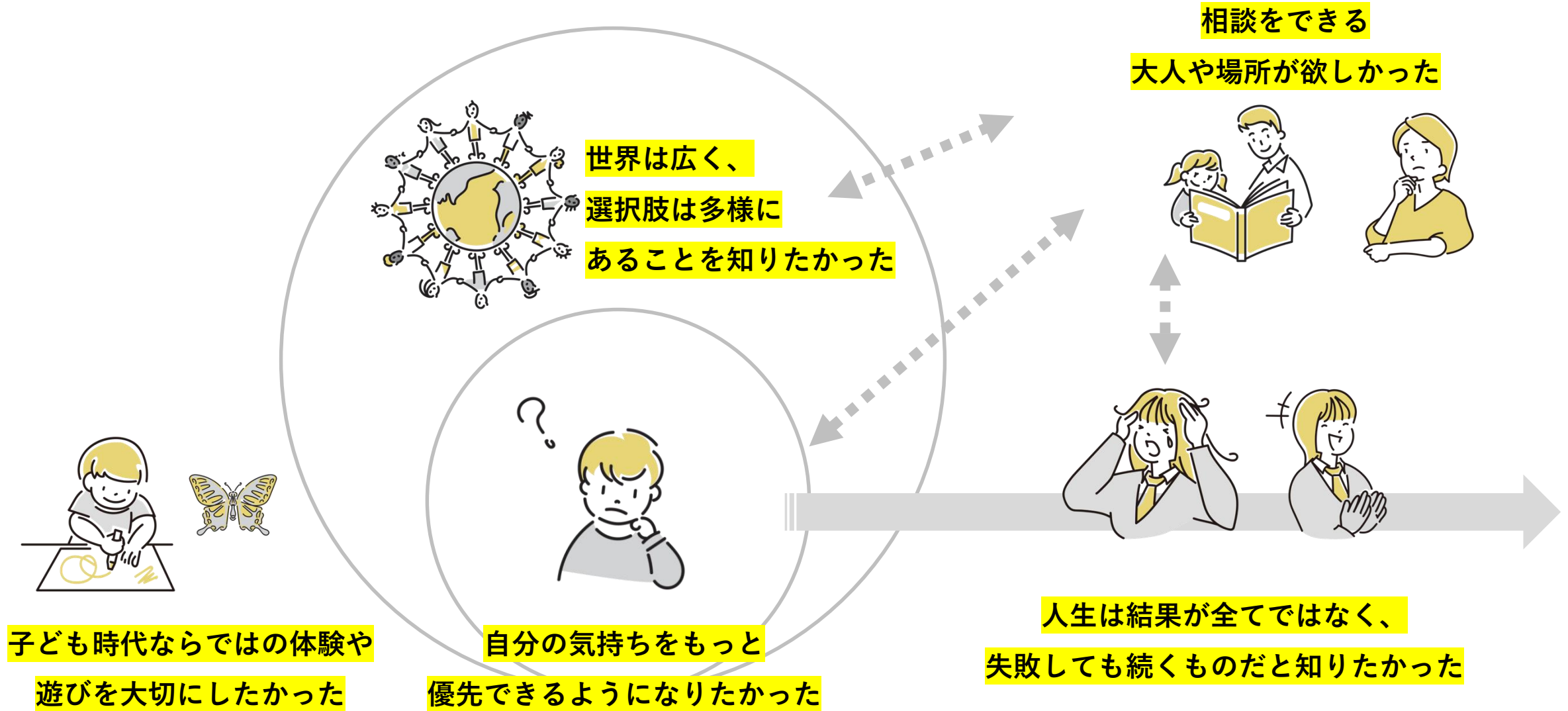
企業やYoutubeからの
“ポジティブ”な情報

総合サマリー

3回のWSから行政としてのサポートを考えられる可能性のある視点

WS①「過去を振り返る」 まとめ

学生たちが子ども時代を振り返り考えた「本当はもっとこうして欲しかった／こうならばよかった」こと



学生たちが将来の自分を想像して感じた「こうなってほしい」理想とそれを実現する上での不安や課題



成功/失敗にとらわれない

多様な生き方や
選択肢を知りたい



精神的には周りに頼りながら、
自立したい



仕事と家庭以外の

自分のための時間も大切にしたい



「仕事は辛いもの」だからこそ、
過度に期待せず慎重に選びたい



家庭は持ちたいけど、
自分が“ちゃんと”できるか不安



仕事と家庭の両立が基本であり理想
だけどできるか不安

背景

SNSや大人からの
“ネガティブ”な情報



若者が得る情報の
二極化・分断



企業やYoutubeからの
“ポジティブ”な情報

共通する
着眼点

**行政とは関わりが低いとされる私的領域や楽しみを支援することが、
結果として本質的な課題解決につながる可能性もある**

過去を振り返るWSからの視点をもとにした施策の例

住まう地域や親の金銭・時間的余裕によって生まれてしまう
子どもの「体験格差」を埋めることにつながる

子どもの習い事・学外体験支援制度

- 地域に存在する学外での体験や習い事の可視化
- 子どもの習い事や体験につかえる助成金
- 習い事への移動を支援する送り迎え制度 など

未来を想像するWSからの視点をもとにした施策の例

仕事と家庭以外の自分のための時間を大事にできると
思える地域・社会なら、子育てにも前向きになれる

「大人の息抜き」支援制度

- 子育て世代の親が（仕事や絶対に必要な用事ではなく）
自分自身の時間を楽しむことに利用できる託児サービス
- 育児のためではなく、育児を休むための育児休暇

共通する
着眼点

情報が溢れているように見えて、本当に必要とされている
「生き方についての多様でリアルな情報」が届いていない

過去を振り返るWSからの視点をもとにした施策の例

失敗や後悔も含めて進んでいくリアルな人生に触れ、
子どもたちが悩みや将来を相談をできる存在にもなりえる

大学生と中高生が語りあう場
「ようこそ（普通の）先輩」

- 偉大な成功をおさめた人物などではない、
20歳の若者が語る「あの頃の自分に伝えたいこと」
（本WSでの語りを直接中高生に聞いてもらうイメージ）
- 中高生が母校の少し上の先輩に聞きたいリアルなあれこそ

未来を想像するWSからの視点をもとにした施策の例

仕事はつらいだけではなく、家庭をもっても自分でのことはできる。若者が多様な生き方やロールモデルに出会える

『桑名の生活史』

- 学生や若者が聞き手となって桑名市に暮らす様々な大人にその生い立ちや現在の暮らしの楽しみを聞き回る
- 普通に働きながら幸せに／魅力的に生きている市民のリアルな暮らしを伝えるPodcastや冊子に

共通する
着眼点

**他者とのつながり（弱い紐帯）を持つことによって、
人生の自立性・安定が生まれる**

過去を振り返るWSからの視点をもとにした支援・施策

いつもの学校・教室が世界の全てではなく、学校が変われば
違った人や空気があると実感することが救いになる

「他校との交流の活性化」

※ 「中学生議会」における中学生によるアイデアを参照

- 市内の学校が一緒に行う合同文化祭や体育祭
- 定期的に他の学校で行う学校/クラス交換会 など

未来を想像するWSからの視点をもとにした支援・施策

相談や支え合うことができる存在が複数あることが、
自身の価値観や生き方を大切に自立することにつながる

境遇・悩みでつながるコミュニティ

- 一つの共通点はあるが、日常の接点はない相手だから
こそ気軽に意見交換ができる集まり
- 市内の共働き世帯同士でつながる悩み相談会 など